



ポートレース芦屋の魅力を教えます!



どんなタイプでも活躍できる水面!

全国のポートレースファンの皆さま、いっちゃん先生です。行くよー!さんちゃ〜く、にちゃ〜く、いっちゃん〜く!決まりました!

さあ、いよいよ、ここ、ポートレース芦屋で、人気者たちが大挙押し寄せる、SGオールスターが開催されます。ファン投票で選ばれた選手ですので、レースの面でも、特徴ある、個性豊かな、メンバーが集結しております。

「私が投票した選手、活躍できるのだろうか?」そんなことは心配御無用です。ご安心ください。この广大で、静かな芦屋水面は、一般戦では、インが強いイメージがありますが、実は、どこからでも活躍できると言うのが私の感想です。さらに、チルトも3度まで、用意されておりますので、究極の伸び仕様なんてのも、可能になっております。ですから、それぞれの得意技を持つ選手たちが勢揃いする、こ

のオールスターには、ピッタリのレース場だと思います。

ファミリーでも大満足の場内!

そして、広大なのは水面だけではないのです。場内にある、お子さまの遊具施設、『モーヴィ芦屋』も大きいのです。ご家族で来場されても満足度100%です。

もちろん、グルメも充実していますよ。おいしいモノがいっぱいあるのですが、まず食べて欲しいのがちゃんぽんです。スープがほんとにおいしくて、具沢山。「まさに、野菜のオールスター勢揃いや」なのです。

そんな見どころいっぱい芦屋で、開催されるレース、地元の9名の選手の大活躍を願っています。

皆さんもそれぞれ投票された選手が、夢を、いや、表彰式で、アシ夢(トロフィー)を掴めるように、熱い応援をして盛り上げていきましょう!

お祭りに華添える水神祭! SG初出場組の初1着率は73%!



土屋 幸宏
●「マンスリーBOAT RACE」編集長

初出場組もインではしっかり結果を残す!

昨年の宮島大会、私の印象に残っているのが、SG初出場した實森美祐(広島)でした。地元水面で0台スタートを連発。予選最終日は前半レースで逃げてSG初1着を挙げると、後半レースは捲って連勝ゴールを決め準優進出を果たします。その準優は0台の踏み込みから見場十分の走り、優勝戦まであと一歩の活躍でした。SG覇者を相手に怯むことなく戦う姿に心を打たれた方もきっと多く、一票を投じたファンも大満足の6日間ではなかったでしょうか。

【過去10大会データ】

SG初出場	15名
優出	なし
準優出	1名 7%
初1着	11名 73%

SG経験済みの 当大会初出場	44名
優出	2名 5%
準優出	12名 27%

その實森と同様に当大会でSG初出場を果たしたレーサーは、過去10年で15名(男子4名、女子11名)います。シリーズの結果を振り返ってみると、優出者はおらず、予選突破も實森ただ1人で、その確率はわずか7%と、SG経験組の壁に阻まれています。

ところが、SG初勝利となると11名(男子4名、女子7名、初1着率73%)が挙げているんです。そのコースと決まり

手の内訳は1コース逃げが9勝、3コース捲り1勝、3コース捲り差し1勝。やはり絶対的イン戦でしっかり逃げ切って、ファンの期待に応えたレーサーが多くいました。中でも男子初出場組は4名全てがイン逃げでのSG水神祭です。

多彩な決まり手で勝利する女子レーサー!

インから手堅く結果を残す男子初出場組ですが、イン以外からの白星は挙げられていません。女子初出場組はイン以外からの勝ち星を3名で計4勝(3コース捲り1勝、3コース捲り差し1勝、4コース捲り1勝、5コース捲り差し1勝)。その全てが万舟決着と、一発あるなら女子レーサーのようです。

ちなみにSG出場経験があつて当大会初出場者となると、過去10年で44名います。優出者は21年若松の佐藤翼(埼玉)、22年宮島の村松修二(広島)と2名。予選突破は12名で、確率にして27%となっています。

今年は渡邊優美(福岡)、安河内健(佐賀)、定松勇樹(佐賀)の3名がSGデビューします。初勝利、初優勝など節目で行われる水神祭の儀式はお祭りを盛り上げるにふさわしい光景です。今年は何度このシーンが見られるでしょうか。

第1回 1974年 住之江	第2回 1975年 常滑	第3回 1976年 住之江	第4回 1977年 住之江	第5回 1978年 住之江	第6回 1979年 住之江	第7回 1980年 住之江	第8回 1981年 住之江	第9回 1982年 住之江	第10回 1983年 住之江	第11回 1984年 浜名湖	第12回 1985年 住之江	第13回 1986年 住之江	第14回 1987年 尼崎	第15回 1988年 住之江	第16回 1989年 下関	第17回 1990年 住之江	第18回 1991年 住之江	第19回 1992年 住之江	第20回 1993年 丸亀	第21回 1994年 戸田	第22回 1995年 浜名湖	第23回 1996年 児島	第24回 1997年 常滑	第25回 1998年 桐生
野中 和夫	北原 友次	野中 和夫	加藤 峻二	彦坂 郁雄	中道 善博	中道 善博	貴田 宏一	常松 拓支	彦坂 郁雄	今村 豊	井上 利明	新田 宣夫	野中 和夫	安岐 真人	黒明 良光	野中 和夫	野中 和夫	中道 善博	野中 和夫	福永 達夫	服部 幸男	松井 繁	植木 通彦	山崎 智也
第26回 1999年 蒲郡	第27回 2000年 蒲郡	第28回 2001年 浜名湖	第29回 2002年 尼崎	第30回 2003年 平和島	第31回 2004年 尼崎	第32回 2005年 常滑	第33回 2006年 戸田	第34回 2007年 住之江	第35回 2008年 平和島	第36回 2009年 福岡	第37回 2010年 浜名湖	第38回 2011年 尼崎	第39回 2012年 浜名湖	第40回 2013年 福岡	第41回 2014年 福岡	第42回 2015年 大村	第43回 2016年 尼崎	第44回 2017年 福岡	第45回 2018年 尼崎	第46回 2019年 福岡	第47回 2020年 住之江	第48回 2021年 若松	第49回 2022年 宮島	2023年 第50回大会 芦屋 優勝戦 5月28日@ 第12レース
濱村 芳宏	熊谷 直樹	松井 繁	西島 義則	平石 和男	上瀧 和則	植木 通彦	山崎 智也	瓜生 正義	井口 佳典	瓜生 正義	岡崎 恭裕	池田 浩二	井口 佳典	新田 雄史	菊地 孝平	山崎 智也	平本 真之	石野 貴之	中島 孝平	吉川 元浩	篠崎 仁志	峰 竜太	原田 幸哉	

50th BOAT RACE ALL STARS 総展望

井上 泰宏 ●「スポーツ報知」

人気・実力を兼ね備えたスターの競演。地元勢が地の利を活かす!?

ファン投票によって選出された人気も実力も確かなスーパースターたちが激闘を繰り広げるオールスターは、節目の第50回大会を迎える。

優出するなど、特別戦で優出を続けており、第38回大会に続く2度目の大会制覇へ期待は高まるばかりだ。



ファン投票1位 池田浩二は大本命

11年ぶりに得票数1位を奪還した池田浩二(愛知)は自身20回目の大会出場、個人的にも節目の大会になる。昨年は唐津のクラシックで8年半ぶりにSGタイトルを手にし、復活を強く印象づけた。今年もSG開幕戦・平和島のクラシックで

多士済々のスターレーサーが激突

3年連続得票2位の西山貴浩(福岡)はオールスターに欠かせない存在で、それが地元水面ならなおさらだ。ただ、今年4月にモーターを更新して、西山は初下ろしのシリーズとなるが、岡崎恭裕(福岡)、篠崎元志(福岡)はGW戦で一度現行モーターを経験



している分、調整の利が大きくなりそう。現役最多の当地V16を誇る瓜生正義(福岡)は、GIでも2度の優勝実績がある。それを上回る当地GI V3の濱野谷憲吾(東京)は、当地直近のSGである21年のオーシャンカップ覇者でもある。昨年のMVP馬場貴也(滋賀)にとって、当地はSG初Vのメモリアル水面。唯一無二のウイリーターンがもたらす超スピードは、芦屋の高速水面との相性もバッチリだ。それは3月に多摩川、大村の周年を制して早くも今年GI V2の毒島誠(群馬)をはじめ、茅原悠紀(岡山)や桐生順平(埼玉)も同様だ。菅章哉(徳島)と高田ひかる(三重)の伸び特化型も、かなり有効な武器になる。

女子・若手のジャイアントキリングに期待

昨年はクラシックで遠藤エミ(滋賀)が女子選手として史上初のSG制覇を成し遂げ、オールスターでは平高奈菜(香川)が優出と、女子選手の活躍が大きなトピックスになった。今年は3大会連続でドリームに

選ばれた守屋美穂(岡山)の躍進に注目したい。大会初出場組では、今年九州チャンプ末永也和(佐賀)と最年少の定松勇樹(佐賀)の佐賀若手コンビにもジャイアントキリングの期待が持てる。



2023年度からのグレードレース賞金額	SG	グランプリ	1億1000万円
		グランプリシリーズ	1800万円
		クラシック、ダービー、オールスター、メモリアル	4000万円
		グランドC、オーシャンC、チャレンジC	3400万円
SG、GI、IIのスタート事故ペナルティ	SG、GI、II 除外期間	SG優勝戦	スタート事故を起こした次のSGから24ヵ月間(GP含む)
		SG準優勝戦	スタート事故を起こした次のSGから12ヵ月間(GP含む)
		SG、GI・II優勝戦	あっせん辞退期間終了後12ヵ月間
	SG、GI・II準優勝戦	あっせん辞退期間終了後6ヵ月間	